

■

本日は松岡専務理事様のお話を聞けて、非常にありがたかったです。

社長が言われているところと似たところが多く、客観的に見ながらの勉強もできました。

過去～現実～未来と繋げていく難しさを感じるとともに、先の事を信じて、今を準備する事が重要だという事を理解できました。

理想郷がまずは一番である事を改めて感じました。

FAIS 松岡専務理事のお話ありがとうございました。

今まで松岡様が行ってきた事をお話頂きましたので、熱の入った心を打つ内容だった事、よい機会を与えていただき、誠にありがとうございました。

私が気付いた、感じた事として。

1. 新たなものとは今の物差しで測れない。
2. 社会自体の目線を変えなければならない。
3. 事業の足を引っ張る者がいた際に刺し違えてやろうとまで思ったが、それでは相手と同じではないかと気づいた。
4. 新しいものとはタイムラグがあり、後からその新しい考えが追いついてくるものだ。
5. 本来の姿であれば、それを行って行くとタイムラグの後、必要とされる時期がくる。
6. 強い意志を持って遂行する。
7. 何度もやめようと思った事がある。でも仲間がいたから助けられた。
8. 灯台下暗しではないが、評価は近くであるとは限らない。遠い人に評価してもらう事も大切。
9. NPO(非営利団体)は SPO(ソーシャルプロフィット=社会利益団体)である。
10. グリーンビレッジを作る会議での決め事として。。。
 - ・無責任な議論をする(組織を背負ってはいいい意見が出ない。偏っている)
 - ・成長する町を作る(今だけではなく、未来も成長している町づくり)
 - ・やれる事をやる(無理なところをすると、そこから壊れていく)
11. コジェネレーションを行う。(コジェネとは新日鉄構内のような熱や、発電などを一体的に効率よくエネルギーを取り出す)
12. 発電所とは発電会社の都合で発電している。(九州電力様の都合)
13. 節電所とは電気を使う側が計画的に使う時間帯などを考え使う。需要者側の仕組みづくり。
14. みんなが参加できる仕組みになっている事が非常に重要である。
15. アジア低炭素化センター様はアジア 70 ケ国で飛び回っている程流行っている。
16. それはなぜかと言われると、技術が欲しいのではなく、考え方、仕組みが欲しいからである。
17. 今後の FAIS 様はみんながやっていける組織を作っていく。
18. NPO 法人里山の会様は里山が北九州にとってどのような役割をしているのかから調べている。
19. 手入れするとはすばらしい事。人間界と動物界の手入れも、空き屋などの手入れをはじめ、手入れと

いうのは非常に重要な事である。

20. 小国町の町長は若くて面白い町長です。

21. 木は面積だけではなく、高さを掛けて体積になる。気の高さがCO2吸収量になる。

以上です。

本当に良い時間ありがとうございました。

とにかく一番大きな気付きは、本質を追い求め、強い意志を持って、進む事。

本質を考えきれないから熱意も生まれていないのかもしれない。

これが絶対にみんなを助けると思ったら、真剣に熱意を持って進められるように思います。

反省し、また私も頑張ります。

■

新たなことに挑戦するときは、世の中に伝わるまでにはタイムラグが必ずあることを実例で紹介して戴きました。

伝わらないのは相手の立場・視点になれば当然で、それでも「社会利益」を考え必要な考え方は必ず伝わる。

北九州市が2004年から始めた「八幡東田グリーンブリッジ構想」は国も認め、始めたのは6年後の2010年。

他にも各々が背負っている立場・責任を捨ててスタートさせる「無責任議論」。

公務員は「社会利益」を実践できる職業。

松岡様の実体験に基づく話は非常に参考になり、時間があっというまに過ぎたように感じました。

役所出身の方とは思えないおもしろい方でした。

貴重な場に参加させて戴きありがとうございました。

■

電話対応等で松岡様のプレゼンを全てお聞きすることが出来ませんでした。熱い思いをお話しされている姿は、引き込まれるものがありました。

実際に稼働する際は、きちんと計画を練り、微力でも携われればと思っております。

■

お話しされる内容にずばずばと率直に切り込んでいく様子は、真実味がありました。いろんな立場や状況を経験されている重みのあるお話をお聞きできました。

■

大変興味深いお話を伺う事が出来ました。

出来ればもっと細かいところまで聞いてみたかったです。



「新しいことをするには」という内容のお話が一番印象に残りました。

- ・自分のものさしと社会のものさしの違い
- ・苦しみや我慢も伴う
- ・想像する喜び、楽しむことの大切さ
- ・タイムラグが発生する（時間軸の考え）

自分の立場で物事をとらえるのではなく、相手の立場からも考えられるようになりたいです。

貴重なお話をありがとうございました。

家に帰って子どもたちにも話しました。



元役所の方だったとは思えないほど、具体例を挙げずばとお話下さいました。

それぞれの立場に立てば、見方も意見も違って当たり前、でも社会に還元できるかどうかで判断するべきで、おかしい所は叩かれても誰かが声を上げていかなければと話されました。

そこを実行されてきた松岡様の言葉は重かったです。

連携が熱を持ってくると思います。貴重なお話、ありがとうございました。



本日の松岡専務理事のお話の内容を国東で取り組もうとしているところと、照らし合わせて落とし込んでいこうと思います。



社長の夢が現実となるよう精進していきます。



北九州の対策は以前から興味があったのですが、その中心的役割を担われた方のお話が聞けて大変勉強になりました。夢が広がる話で、国東などでもぜひ現実的なところに落とし込んでいけたらと思いました。



本日はwebexにて、F A I S専務理事：松岡様講話社長のプレゼンを拝聴致しました。

新しいものを成し遂げるにはタイムラグがありその間に、我慢や苦しみもあるが想像する楽しみもある。と言うお言葉が心に残りました。

そして、成功する・しないに関係なく、全てが後にネットワークとして繋がっていくこと、目的は同じでも、それぞれの立場で進んで行けばよいこと、この二つは忘れずに実行していこうと思いました。

本日は貴重なお時間を、ありがとうございました。

■

本日お話を聞かせて頂き、改めて仕事をとおした「生きがい、やりがい」の追及の素晴らしさを感じました。自然や環境についてももっと勉強していきます。

■体力と気力は比例してゆくとお話を聞き、今だから出来る事を考えていきたいと思えます。

私は北九州出身なもので、エコタウンのお話しをお聞きし、若松の響地区の仕事を思い出しました。

当時は響地区から見える風車が何故あるのかと思いながら仕事をしてました。

2002年ぐらいに見えたものも、今見るとまた違うものに見えるかもしれません。

以 上